

生活に活かす アユルヴェーダの健康方

NPO法人「医療を考える会」主催

講演と相談 幡井 勉 ハタイ・クリニック所長

東洋伝承医学研究所所長

日時 10月28日(日)午後1時30分～4時

会場

専門化され、細分化され過ぎて問題を抱える現代医療への反省から、医療の考え方にも変化がでています。人のからだと心の全体を考え、病気を予防する免疫力（自然治癒力）を重要視する、伝統医療の考え方が再評価され医療のなかで広がりつつあります。

インドの伝統医療アユルヴェーダは、仏教の伝来とともに聖徳太子の時代に日本に伝えられ、人々の生活におおきな影響を及ぼしてきました。近年広まっている ヨーガやオイルマッサージもアユルヴェーダから生まれました。

長年にわたりアユルヴェーダの研究を続け、自分のクリニックで治療に活用されてきました幡井先生からお話をうかがいます。

幡井先生 東邦大学医学部教授を経て同大名誉教授。中国医学、インド医学に注目、日本におけるアユルヴェーダ研究および治療の先駆者となる。東洋伝承医学研究所、ハタイクリニック所長。鍼灸マッサージ治療の健康保険適用運動の協力者である。鍼灸マッサージ治療の健康保険摘要を広げるための岸イヨさんの鍼灸裁判の「鍼灸裁判支援する会」の代表をお願いした。

